

第6次高浜市総合計画推進会議（第2回） 会議録			
日 時	平成24年6月21日（木）午後7時～8時30分		
場 所	高浜市役所 第2会議室（4階）	傍聴人数	16名
出席者	委 員	中川幾郎、小笠原芳夫、中川勝利、竹内一仁、鈴木康博、竹内亨弘、井野代司彦、杉浦盛仁、古橋知美、神谷通夫、杉浦幸七 (11名出席)	
	行 政	財務グループ リーダー 竹内正夫（市民会議 財政分科会リーダー） 文化スポーツグループ リーダー 内藤克己（同 生涯学習分科会リーダー） 学校経営グループ 主 幹 梅田稔（同 学校教育分科会リーダー） 経営戦略グループ リーダー 山本時雄（同 産業・観光分科会リーダー） 市民生活グループ リーダー 山下浩二（同 環境・憩い分科会リーダー） 都市防災グループ リーダー 芝田啓二（同 防犯・防災分科会リーダー） (6名出席)	
	事務局	企画部長 加藤元久 地域政策グループ リーダー 岡島正明（市民会議 自治推進分科会リーダー） 同 主 幹 三井まゆみ 同 主 査 井野昌尚 同 主 査 鈴木明美 同 主 査 山本久美 同 主 事 江坂摩由里 同 主 事 中村彩 同 主 事 市橋知樹 (9名出席)	
次 第	1 あいさつ 2 議題 1) 施策評価（点検・確認）の進め方について ①「施策評価」について ②点検・確認スケジュールについて ③基本計画の施策に対する「市民意識調査」結果、「みんなで目指すまちづくり指標」一覧について ④「施策評価シート」市民会議及び行政の担当一覧について ⑤「施策評価シート」の見方について ⑥「点検・確認シート」について 2)「高浜市の未来を創る市民会議」（第2回）の進め方について 3 その他		
資 料	資料1：第6次高浜市総合計画推進会議（第1回）会議録 資料2：第6次高浜市総合計画 基本計画（前期） 施策評価（点検・確認）の進め方 資料3：「高浜市の未来を創る市民会議」（第2回）次第【サンプル】 資料4：「高浜市の未来を創る市民会議」（第2回）分科会資料【サンプル】		

	<p>資料5：【説明シート】総合計画の目標達成に向けて、「どんな考え方で」、「どんな姿を目指して」、「どんな取り組みを進めてきたのか」を共有しよう！</p> <p>参考資料：第6次高浜市総合計画 基本計画（前期）点検・確認シート【サンプル】</p> <p>参考資料：まちづくりや市民生活の現状及び児童・生徒の意識や行動に関するアンケート報告書</p>
--	---

1. あいさつ

- ・第2回推進会議を始めさせていただく。
- ・事前の配布資料のほか、当日配布資料として、「まちづくりや市民生活の現状及び児童・生徒の意識や行動に関するアンケート報告書」と資料3の差し換えが配布されているので、よろしくお願ひしたい。

2. 議題

1) 施策評価（点検・確認）の進め方について

①「施策評価」について

②点検・確認スケジュールについて

事務局より、資料2『第6次高浜市総合計画 基本計画（前期） 施策評価（点検・確認）の進め方（P.1～5）』に基づき説明。

- 会 長：
- ・高浜市の行政評価には、「施策評価」と「事務事業評価」がある。推進会議や市民会議では、「施策評価」を担っていく。
 - ・「施策評価」は、基本計画に掲げた目標に向かってきちんと進んでいるか、取り組んできた事業内容が目標達成の手段としてふさわしかったか、目標達成に効き目があるか、他に適当な手段はないかといったことを見るもの。
 - ・一方、「事務事業評価」は、事業1本1本の進め方は適切だったか、進捗状況やコスト面での効率性といった事務事業自体の執行を評価するもので、行政評価委員会という専門の委員会で評価していただく。
 - ・ご意見・ご質問があったらお願ひしたい。

—質疑なし—

③基本計画の施策に対する「市民意識調査」結果、「みんなで目指すまちづくり指標」一覧について

事務局より、資料2『第6次高浜市総合計画 基本計画（前期） 施策評価（点検・確認）の進め方（P.6～9）』、参考資料『まちづくりや市民生活の現状及び児童・生徒の意識や行動に関するアンケート報告書』に基づき説明。

【質疑等】

- 委 員：
- ・アンケートの回収率が前回より下がっているが、何か理由は考えられるか。
- 事務局
- ・前は10月頃に調査を行ったが、今回は4月下旬～5月中旬とゴールデンウィークに重なったことが影響しているのではないかと考えている。
 - ・調査結果の誤差は最大2.9%となっており、5%以内であれば有効とされているため、適正な結果であると考えているが、回収率については、今後の課題と考えている。
- 委 員：
- ・調査対象の男女比はどのような構成か。また、コストはいくらかかったのか。
- 事務局：
- ・高浜市の人口分布と同じ比率で抽出しており、130万円ほどかかっている。
- 委 員：
- ・調査項目が多く、回答者は大変ではないか。

- 事務局： ・総合計画の進行管理に必要な分だけに絞り、33項目となった。
- 委員： ・回収方法はどのような形か。
- 事務局： ・18歳以上の市民へは、郵送で配布し、同封した返信用封筒で返送していただいた。児童・生徒については、学校に調査票をお渡しし、クラスごとに配布、担任の先生が回収し、とりまとめたものを届けていただいた。
- 会長： ・神戸市では、1万人を対象に50問のアンケートを取っているが、回収率は低い。市政モニターという方法もあり、委嘱した方に、100問ほどのアンケートを取ることもあるが、謝礼を出す必要がある。また、回収率は高いが、相対的に評価も好意的になる傾向がある。
- 委員： ・「アンケート報告書」P.56, 57の、地域行事、ボランティア活動の参加者は、今回は71人、前は152人という部分が実際の人数ということか。
- 事務局： ・割合から割り返して算出したもの。
- 委員： ・昨年は、震災の影響でイベントが少なくなっていたり、学校では、教育要領が変わり、ボランティアなどを行う時間が減っているといったことも、要因ではないか。もう少し掘り下げて要因を探してほしい。
- 委員： ・特別な出来事により、数値が変わることはあると思う。データについては、複眼的に見なければならぬ。また、アンケートだけが全てではないということも考えなければならぬ。

④「施策評価シート」市民会議及び行政の担当一覧について

⑤「施策評価シート」の見方について

⑥「点検・確認シート」について

事務局より、資料2『第6次高浜市総合計画 基本計画（前期） 施策評価（点検・確認）の進め方（P.10～14）』、参考資料『第6次高浜市総合計画 基本計画（前期） 点検・確認シート【サンプル】』に基づき説明。

【質疑等】

- 委員： ・施策評価シートの6に、行政評価委員会の結果という欄があるが、いつ何を実施したのかといったスケジュール、時期などは示してもらえるのか。
- 事務局： ・事務事業評価については、当初のアクションプランの年間計画と実績を行政評価委員会にお示しし、議論をいただく。
- 委員： ・実施時期が集中しすぎている、実施回数が多すぎて負担になっている、実施回数が少ない、といったことは評価結果として分かるようになるのか。
- 事務局： ・事務事業評価では、あくまでも、当初に立てた計画をきちんとこなしたかどうかという観点で行っていただく。その事業を、どのように施策につなげていくかという点については、推進会議で議論いただきたい。
- 委員： ・分科会の連携について以前から課題になっている。前回の推進会議でも、連携のアイデアが出ていたため、分科会同士の連携が必要なテーマについても、点検・確認シートなどで整理して、次のアクションへつなげてほしい。

- 委員： ・ 市民会議で議論しやすいように、フォーマットをつくってはどうか。
- 委員： ・ 昨年度、授産所高浜安立が主催した「高浜市の防災を考える市民フォーラム」では、福祉と防災を絡めて講演会を行った。また、ボランティアの関係では、子どもがボランティアに関わることは、地域の福祉にも関わってくると思う。
- 委員： ・ 前回の推進会議で、環境・憩い分科会の職員リーダーから、子どもを切り口に、生涯学習分科会や学校教育分科会と連携する可能性があるのではないかという話や、福祉と NEW ボランティア人の話もあった。可能性をまとめていただけると、議論がしやすい。

—連携の必要性に関する項目を立て、点検・確認シートのフォーマットを修正する—

2) 「高浜市の未来を創る市民会議」(第2回)の進め方について

事務局より、資料3『「高浜市の未来を創る市民会議」(第2回)次第【サンプル】』、資料4『「高浜市の未来を創る市民会議」(第2回)分科会資料【サンプル】』、資料5『【説明シート】総合計画の目標達成に向けて、「どんな考え方で」、「どんな姿を目指して」、「どんな取り組みを進めてきたのか」を共有しよう!』に基づき説明。

- 事務局： ・ 7月以降の分科会の進め方について、統一日程方式と分科会ごとに個別で開催のどちらが良いか、ご意見を伺いたい。

—多数決により、統一日程＝2人、個別開催＝7人—

【意見等】

- 委員： ・ 全体の意思統一をしてから分科会に入った方が良いと思う。
- 会長： ・ 統一日程の場合は、同時並行で分科会を開催するため、他の分科会の話聞くことが出来ず、連携が取りづらいという面がある。逆に、個別開催の場合は、行政の担当職員の能力にかかってくる。
- 事務局： ・ 統一日程の場合、皆さんの日程がなかなか調整つかない。個別開催で都合が良くないようであれば、途中で全体会を入れても良い。
- 委員： ・ 同じレベルで進んでいく方が良いのではないか。個別に進めると、他の分科会がどの程度進んでいるのか分かりにくい。今日は、ここまで進めて、こういうことを決めてください、といった指導があると進めやすい。
- 会長： ・ 進捗状況を確認することは、どこかで必要。一方で、各分科会が自主的に進めていくことも大切。適宜、全体会を開催してはどうか。
- 委員： ・ ずっと分科会が個別に開催していると、混乱するかもしれない。3ヶ月や2ヶ月に1回、全体会での説明を受けてから分科会に移ってはどうか。
- 委員： ・ 分科会は、元々個別の機能。その中の連携のやりとりをつかさどるのは、事務局や職員同士など。連携の動きを仕掛けるのも、推進会議には必要。

—分科会は個別開催とし、8月に進捗状況を確認する全体会を開催する—

3. その他

- 会長： ・その他ということで、委員の皆さんから、一言ずつご発言いただきたい。
- 委員： ・1年で結論を出さなければ、少しでも前へ進まなければ、という部分が多すぎるのではないかと感じる。
- 委員： ・行政側からも、分科会開催の相談など、アプローチをいただきたい。
- 委員： ・楽しくやっていきたい。
- 委員： ・詰め込みすぎ、短期決戦になってはいないかと感じる部分がある。
- 委員： ・意識調査結果を見ると、やはり環境に対する関心は高いと感じた。職員リーダーとも相談しながら、さらに活動を活性化していきたい。
- 委員： ・総合防災訓練の際には、昨年度、市内 600 箇所に貼った標高サインのシールを参考にした津波訓練などを行うなど、利用していただきたい。
- 委員： ・本日の、事務局のユニフォームの意味を教えてください。
- 事務局： ・現在、節電対策に力を入れており、めしどりやカワラッキーなどのご当地 T シャツの着用も許可している。本日は、節電 PR のために着用した。
- 委員： ・市民意識調査結果で、基本計画の目標の内、「安全・安心が実感できる防犯・防災対策が進められているまちだと思う。」のみ、現状値より下回ってしまった。安全・安心は、生命・身体・財産全てに関わってくるものであり、全ての人が意識を持たなければならないこと。まずは、意識改革を行い、割合を上げていきたい。
- 委員： ・新規の方、継続の方、描く市民会議から再び参加される方など、もう少し、もう少しと期待を持って参加されている方が多いのを実感した。
- 委員： ・行政に、もう少し指揮を執っていただいて、進めていけたらと思う。
- 委員： ・「アンケート報告書」P.6～9には、学区別の結果が載っていないが、自分たちの地域は、どういったことに力を入れていく必要があるのかを知りたい。生きた資料として活用したいので、細かい結果を教えてください。
- 事務局： ・報告書では膨大な資料になってしまうので、要望をいただければ、必要に応じてお示ししたい。
- 委員： ・点検・確認から実行まで、基本的には、職員の役割が非常に重要。職員の政策力をさらに磨く必要がある。その中で、大切なのは「見える化」、「見せる化」、「話せる化」。
- 委員： ・「見える化」では、「問題の見える化」、「現状の見える化」、「住民に対する見える化」、「市への見える化」、「行政運営の見える化」の5つに気をつけると、議論がしやすいのではないと思う。
- 委員： ・「話せる化」としては、話す相手に合わせた話をしなければならない。
- 事務局： ・詰め込みすぎというご指摘があり、申し訳なく思っている。施策評価シートについては、行政がとりまとめた案に対して、気楽に、市民の皆さんの目線でアイデアをいただきたい。
- 委員： ・職員も、市民リーダーさんのところへ足を運び、分科会の運営などについて

て積極的に働きかけを行っていききたい。

- 行政：・事務事業評価として、6月30日（土）午後1時から、行政評価委員会の公開ヒアリングを行う。ぜひご参加いただきたい。
- 行政：・リーダー同士のコミュニケーションを密にしてやっていきたい。
- 行政：・楽しくやっていきたい。
- 行政：・頑張ってやっていきたい。
- 行政：・港小学校で実験を行ってきた。連携のカギになるのではないかと考えている。また、分科会でお話させていただきたい。
- 行政：・両GLとは毎週お会いしている。しっかり連携していきたい。
- 傍聴者：・来年度以降、決算のやり方を見直さなければならないのではないかと感じた。今までは決算書で行ってきたが、こうした事業シートのような分かりやすいデータを出していただけると、議会も議論がしやすく、また、市民の皆さんにとっても議論が見やすくなる。その辺りも、議会の中でも考えていきたい。
- 会長：・議員にも説明シートを用いて説明いただく場面が出てくるかもしれない。
- 会長：・高浜市の施策評価は、評価の中身としては政策評価と同じ。事業の効き目があるか、やる意味があるかなどを評価する。事務事業評価は、コストなどの経済性と生産性やパフォーマンスなどの効率性の評価を行う。
- 会長：・推進会議では、本当にこの事業をやる意味があるのか、効果が出ているのか、他の方法があるのではないかと、組み合わせを変えた方が良いのではないかと、といったことの議論をお願いされていると考えれば良い。経済性と効率性については、別に委員会があり、そちらに委ねていただければ良い。

- ・議事録の内容については、書面表決とする。

今後の日程

第3回推進会議：7月12日（木）午後7時～9時（予定）

第2回市民会議：6月26日（火）午後7時～